第６回セミナーを９月１２日(土)13:30～15:30 に開催しました。参加者の皆さんよりお預かりしたリフレクションをまとめました。

会　　場　　愛知文教大学　３０５教室

テ　ー　マ　　「『教育×生成ＡＩ』　～これからの校務と学びを深める利活用のヒント～」

コーディネーター　学び合う学び研究所フェロー　神戸　和敏 先生

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、AI も学びの道具として上手に利用する必要があるということです。 正直いいまして、学校現場でどのように生成 AI を利活用していくべきか、児童生徒にどのように生成 AI について教えていくべきか、よく分かっていませんでした。しかし、神戸先生の講義からイメージが湧きました。まずは自分自身でどんどん使って、利活用できそうなことを見付けていきたいと思います。児童生徒に安易に生成 AI の使い方を教えることに危険性があることもよく理解できました。東京都みたいに小中学校でも生成 AI をどんどん導入するべきだと思っていましたが、考え方が変わりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、子どもに正解を求める授業をするのか。学びの過程を問う授業をするのかです。 生成 AI のメリットやリスクについて聞き、改めてどのように使えばよいのか改めて考えることができた。 子どもにどのように生成 AI を使わせるかを検討することはもちろんですが、ふだんから子どもに正解を求める授業をしているのか、学びの過程を問う授業をしているのかが、重要だと感じた。
今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、生成 AI はどう活用するかでさまざまな事項が効率よく取り組ことができることを学びました 1 番心に残っている事は、AI に何ができるかではなくて、人間が AI を使って何をしたいのかということを明確に持たなくてはいけないということです。子供たちに生成 AI を使わせると思考が育たないと思い込んでいましたが、正解を求める授業をしていては子どもたちは生成 AI で正解を求めてしまう。決して生成 AI が悪いのではないということと、学びの過程を問う授業に変えていく必要性を強く痛感しました。ありがとうございました。
今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、学び合う学びの本質、身体性、思考力・判断力・表現力、読解力です。 神戸先生ありがとうございました。今日もいっぱい学び、神戸先生のおかげでかなり整理できました。 また、どのように生成 AI を利用するのか？映像がうっすら浮かび、ビジョンらしきものもちょっと象られてきたように思います。数年前から神戸先生のセミナーで GIGA スクール構想におけるクラウドの機能や大切さを學びました。記憶をクラウドにおき、他のことで自分の頭やからだをつかうようにしています。 今日のセミナーで、さらなる光がみえた気がしました。しっかりリフレクションして自分のものにして、仲間に伝えられるようにしたいと思います。 これからもいっぱい學ばせてください。ありがとうございました。
今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、どのような授業を行うか？で子どもたちの生成 AI の活用の仕方が変わる！ Gemini と NotebookLM の使い方を実際に教えていただき、とても有意義な時間になりました。これまで Gemini は、保護者宛文書を作成する際に活用していましたが、まさか音楽まで作れるとは…。また、円周角の定理を説明するアプリも作ることができた上に、指示を加えれば、あっという間に小学生用にアレンジできたことで、すっかりテンションが上がってしまいました。子どもたちの実態を掴み、さらに単元のねらいに合わせた練習問題の作成、ジャンプ課題などに活かせると思いました。今日、教えていただいた生成 AI 利活用のメリットと留意点を頭に入れて、「たたき台」として資料をブラッシュアップするために生成 AI を活用

していきたいと思います。
今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、AIに対する捉え方やNote bookLMについて学び、効果的に使いこなしたいと思った。 資料を使いNote bookLMの使い方を学ぶことができてよかった。 AIの危険性や利便性を教えて頂いた。危険を理解したうえで生成AIを使用していきたい。